

文章検

2024年度

漢検

公益財団法人

日本漢字能力検定協会

〔不許複製〕

文章読解・作成能力検定準2級E 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2025年
1月24日



第1問 【30点】

問1 1 エ 2 ウ 3 ウ 4 エ 5 ウ

問2 1 イ 2 エ 3 イ

第2問 【30点】

問1 イ

問2 ア

問3 ウ

第3問 【30点】

問1 ウ

問2 イ

問3 エ

第4問 【40点】

問1 1 信↓慎

2 おっしゃる↓申し上げる

3 ローカ

問2

解答例

慰問ショーを取材していただければ、多くの視聴者に奇術部の活動を伝えられます。しかし、観客である老人ホームの利用者の中には、取材を受けるのはいやだという人もいます。そこで、私たちは観客への配慮を優先することにいたしました。

(25字×5行)

裏へ続く

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問2 (25点)

チェックポイント	配点
(1) 3文の順序・つながりの言葉が適切であるか	8
(2) メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3) 誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (70点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 **B**: 意見 **C**: 理由 **D**: 異なる意見とそれに対する反論

チェックポイント	配点
構成：事実・意見・理由・異なる意見とそれに対する反論の4段落になっており、段落の関係は論理的であるか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	5
第3段落：意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
第4段落：異なる意見は反対の立場のもので、それを否定する反論が述べられているか	5
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

* 行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。
実際の採点では部分点等を規定しております。

作成例1 「再度お礼を伝えるほうがよい」立場

他県の大学に進学した友人に誕生日プレゼントとしてクッションを送った。届いた日に、メッセージアプリでお礼がきた。その一か月後、帰省で会った時に、使い心地を尋ねたかったのだが、友人が何も言わないため、こちらから聞くのがためらわれた。また、もしかしたら、クッションが気に入らなかったのだろうか、あるいは一人暮らしの部屋には大き過ぎて邪魔になっているのだろうかなどとやきもきした。そこで、思い切って尋ねてみたところ、重宝していると返ってきた。ホッとしたが一言お礼を言ってくれていたら余計な心配はしなくて済んだのと思った。

そのこともあり、私自身は、だれに対しても二度目のお礼を伝えるようにしている。他人から厚意を受けた場合、その後にあつたり連絡を取つたりした時にも再度お礼の言葉を伝えるほうがよい。

プレゼントをしちりごちそうしたりした側は、それが相手に気に入ってもらえたかとか、迷惑ではなかったかとかと心配もするし不安でもある。後日、お礼を言うことで、相手の不安を解消することができる。

他方、再度お礼を伝えるのは、形式的なマナーに沿っているだけで相手のことを考えてのことではないという意見がある。だが、マナーを守ることそのものが、相手をないがしろにしている気持の表れである。マナーに沿ってお礼を伝えることによって、相手と今後よい人間関係を築く意思があると表明しているのだから、相手のことを考えていないとはいえない。(25字×26行)

作成例2 「再度お礼を伝えないほうがよい」立場

姉は昔ながらの喫茶店を巡るのが趣味だ。ネットで情報を集めて友人を誘うこともある。しばらく前までは、いい店があるからと友人たちと出かけていた。だが、最近は一人で出かけることが多い。理由を聞くと、毎度のように前回のお礼を言う友人がいるので、何となくぎくしゃくしてしまうらしい。確かに、店を選んでくれるのは姉だし、誘った手前、たまにごちそうすることもあるらしい。だが、姉はその場でお礼を言ってもらえればそれで十分だという考え方だ。むしろ、二度目のお礼を言われると「気にしないで」のように、その都度対応しなければならなくなり、精神的に疲れるのだと言う。

私も姉の考え方に賛成する。他人から何らかの厚意を受けた場合、その後にあつたり連絡を取つたりした時に再度お礼の言葉を伝えないほうがよい。

厚意を受けたその場でのお礼はもちろん言うべきだ。だが、後日の再度のお礼は、相手を恐縮させたり、謙遜の言葉を言わせたりすることにつながる。それが美德であったとしても、お礼を伝えることによって、余計な気を遣わせてしまうことになるのだ。

一方で、再度お礼を伝えると、感謝の気持ちにより関わって人間関係が今以上に良好になるという意見もある。しかし、何度もお礼を伝えることで、感謝の気持ちではなく、もう一度プレゼントをもらつたりごちそうしてもらつたりしようという気持ちがあると誤解されてしまう可能性がある。そうなれば、お礼を言うことが逆効果となり、人間関係に悪影響を与えてしまう。(25字×26行)

文章検

2024年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 不許複製
文章読解・作成能力検定 3級E 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2025年
1月24日



第1問 [30点]

問1 1 ウ 2 イ 3 ウ 4 イ 5 ア

問2 1 ウ 2 ウ 3 イ

第2問 [30点]

問1 ウ

問2 ア

問3 イ

第3問 [30点]

問1 イ

問2 イ

問3 ウ

第4問 [40点]

問1 1 前略 (※ 不適切な頭語：拝啓)

2 激↓劇

3 申された↓おっしゃった

問2

解答例

戦争については学校でひととおり学んでいました。しかし、戦争中の人々の生活についてはあまり知りませんでした。そのため、石田さんのお話には驚くようなことがたくさんありました。

裏へ続く

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問2 (25点)

チェックポイント	配点
(1)内容のまとまりごとに分割されているか	8
(2)傍線部の内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	12
(3)誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (70点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 **B**: 意見 **C**: 理由

チェックポイント	配点
構成：事実・意見・理由の3段落になっており、事実/理由が意見に結びつくものになっているか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	10
第3段落：意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

* 行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。実際の採点では部分点等を規定しております。

作成例1 「伝えるのがよい」立場

以前、友達がシュークリームを作ったといっって、私に一つくれた。食べてみると、シューがたたくて正直あまりおいしいとは思えなかった。しかし、せっかく作ってくれたものなので、友達には味の感想は伝えずありがとうとお礼だけ伝えた。そして昨日、友達は、大好きな先輩への誕生日プレゼントとしてシュークリームを渡したそう。すると、シューがかたいと先輩に指摘されたようで、喜んでほしかったのに失敗したと落ち込んでいた。こんなことになるならば、私が友達にそのままの感想を伝えておけばよかったと思った。

B せっかく料理を作ってくれた人に否定的な感想を伝えるのはいやなものだ。しかし、抱いた感想はそのまま伝えるのがよい。

C 料理を作ってくれた人に否定的な感想を伝えないでいると、その人は、良かれと思って同じものを別の人にもふるまう。そうして、最終的には本人の失敗を招くことになってしまう。つまり、相手に否定的な感想を伝えないでいると、その人のためにならないのだ。

(25字×18行)

作成例2 「伝えるのはよくない」立場

先日、父が夕飯にカレーを作ってくれた。何時間もかけて作ってくれていたもので、私も妹もおいしさに違いないと期待していた。しかし、食べてみると普段食べているカレーより辛く、私は「けっこう辛いね」と言ってしまった。妹も同じように思ったようで「たしかに辛すぎる」と同意した。父は「せっかく長い時間をかけて作ったのに」とその日はずっと悲しそうにしていた。そんな父を見て、家族だからといって思ったまま言うものではなかったと反省した。

B 自分の感想を思ったまま口にしたことで、父を傷つけてしまったのだ。料理を作ってくれた親しい人に対して、否定的な感想を伝えるのはよくない。

C 自分が作ったものに対して否定的な感想を伝えられることはつらいことだ。そして、そのつらさは、たとえ親しい人からの感想であっても変わらない。否定的な感想を伝えることは、せっかく料理を作ってくれた人を傷つけることになる。

(25字×17行)

文章検

2024年度

漢検 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 不許複製
文章読解・作成能力検定 4級E 標準解答

合否その他に関する問い合わせには一切応じられません。

検定日
2025年
1月24日



第1問 [40点]

- 問1 1 ウ
2 ウ
3 ウ
4 ア
5 ウ
- 問2 1 ア
2 ア
3 ア
4 ア
5 ウ

第2問 [20点]

- 問1 エ
問2 ア

第3問 [40点]

- 問1 イ
問2 ウ
問3 エ
問4 ア

第4問 [40点]

- 問1 ウ
問2 ア
問3 イ

問4

解答例

この一か月ほど、スマホケースをかえたくて、いろいろなお店で探していました。しかし、私の好みにぴったり合うケースが見つからずに困っていました。だから、おばさんからいただいたプレゼントをともうれしく思っています。

(25字×5行)

裏へ続く

記述問題の採点チェックポイント

第4問 問4 (25点)

チェックポイント	配点
(1) 3文の続き具合が不自然でないか	6
(2) メモの内容すべてを、手紙の文章としてふさわしい表現で書いているか	14
(3) 誤字や脱字、文法のミスがないか	5

第5問 (60点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 **B**: 意見

チェックポイント	配点
構成：事実・意見の2段落になっており、事実は意見を支えているか	20
第1段落：事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落：自分の意見が、はっきりと示されているか	10
表記：誤字脱字などのミスがないか	10
表現：語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

* 行数不足、行数^{ちょうか}超過は採点対象外(0点)です。
 実際の採点では部分点等を規定しております。

作成例1 「チェックしてもらおうのがよい」立場
 小学一年生のとき、毎晩親が翌日学校に持っていくものを確認してくれた。自分ではきちんとそろえたつもりでいるから、よく親に「大丈夫」と言ったものだ。だが、実際に確認されると、体操着を入れ忘れていたり、教科書を間違えて入れたりしていることがあった。そのたび親には「ほら、大丈夫だと思っても、ついうっかりすることがあるんだから」とさとされた。
B 親の言う通り、うっかりはだれにでもありえる。小学校の低学年という幼い時期ならなおさらだ。低学年のうちには、忘れ物がないか、家族にチェックしてもらおうのがよい。
 (25字×11行)

作成例2 「チェックしてもらおう必要はない」立場
 小学校に入学した当初、忘れ物をしないよう、父か母のどちらかが必ず学校の持ち物をチェックしてくれていた。だが、二年生になったころ、父が出張で留守で、母が病気で寝込んだことがあった。その数日間はずがに持ち物のチェックはしてもらえなかった。そこで、私は自分で念入りに持ち物を確認した。何度も確かめたおかげで、その期間の忘れ物もゼロだった。自分ががんばれば、家族に手伝わってもらわなくてもできるんだ、と達成感を感じた。それ以降、親のチェックを断って、自分で持ち物を確認するようにした。
A 小学校の低学年でも、注意深く確認すれば忘れ物をしないようにできる。忘れ物がないか、家族にチェックしてもらおう必要はない。
 (25字×13行)
B